

사람과 기술
문화로 융합하는 부산

2030 クリーンエネルギー 都市 釜山



부산광역시
BUSAN METROPOLITAN CITY





目次

I ビジョン及び推進方向

II 主要推進戦略

III 期待効果

IV 共同協力事業への提案



I .ビジョン及び推進方向

ビジョン

2030**クリーンエネルギー都市** 釜山

目標

'30年最終エネルギー消費量の内 再生可能エネルギー割合**12%**

主要戦略

太陽光発電普及

洋上風力, 海洋エネルギー発電団地造成

水素燃料電池発電拡大

スマートグリッド, 電力需要システム構築

分散型エネルギー貯蔵システム構築

老朽産業団地エネルギー
取引プラットフォーム構築

II. 主要推進戦略

1. 太陽光発電普及拡大

多様な太陽光発電普及拡大('16年65MW → '30年755MW)

一般(共同)住宅

設備支援,貸与,補助金拡大



公共施設等

民間事業者連携 設置拡大



民間太陽光

工場の屋根,学校の屋上,駐車場等



II. 主要推進戦略

2. 風力発電団地造成

民間主導の風力発電団地の持続造成('30年 700MW以上)



古里~青沙浦 洋上風力(540MW, '16 ~ '25)



洛東江河口小型風力団地(2.25MW, '16~ '19)

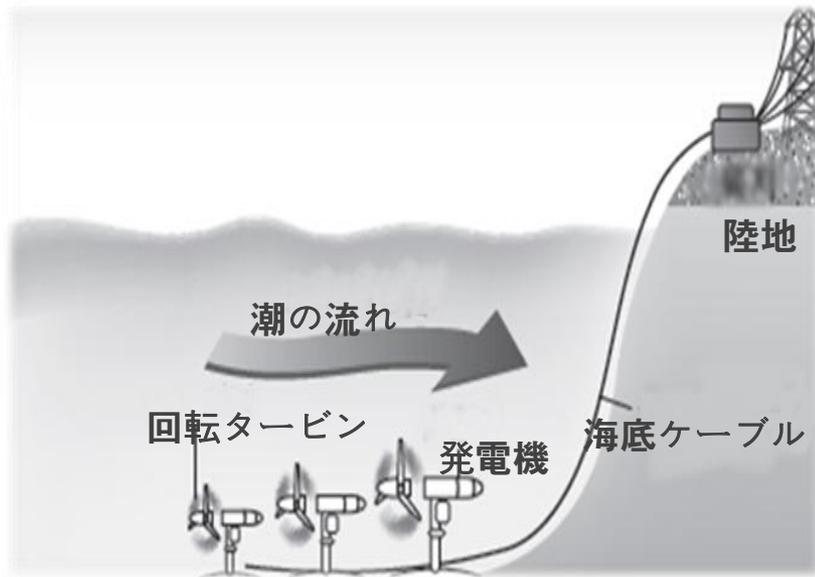
II. 主要推進戦略

3. 海洋エネルギー開発

持続的な技術開発研究を通じ海洋エネルギーの実証及び実用化

■ 海洋複合新再生発電の実証事業('17~'22)

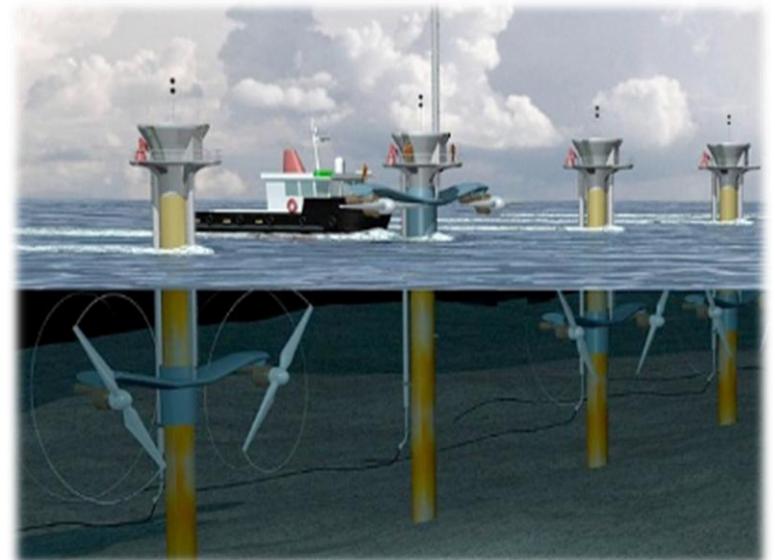
- (海洋複合)洋上風力3MW+潮流1MW



■ 海洋浮体式ハイブリッドプラント実証

基盤構築('18~'22)

- 波力発電10MW



II. 主要推進戦略

4. 水素燃料電池

新規の産業団地等基盤施設造成時 水素燃料電池設置を活性化

海雲台水素燃料電池発電施設



- 海雲台集団エネルギー供給施設 敷地(3,279m²)
- 30.8MW(0.44MW × 70台)

釜山新港背後水素燃料電池発電施設



- 江西国際物流都市 一般産業団地 (9,339m²)
- 35MW(1段階 17.5, 2段階 17.5)

II. 主要推進戦略

5. 再生可能エネルギー拡大基盤構築

スマートグリッド拡散体系構築



AMI 基盤電力再販売, BEMS, FEMS等普及

分散型 エネルギー貯蔵システム



プロシューマー活性化及び電力自立に向けたESS普及支援

電力需要資源取引市場参加を拡大



電力需要ピーク時の機関別減縮を通じた収益発生

老朽産業団地エネルギー取引プラットフォーム構築



熱宅配等活用 老朽産業団地 廃熱取引システム構築

III. 期待効果

エネルギー産業の育成を通じた地域発電及び温室ガスゲン削減



発電団地の観光資源活用



造船産業連携産業の育成



温室ガス削減

IV. 共同協力事業提案

再生可能エネルギーグリッド構築

- 韓日海底電力網構築を通じた電力取引
- 沿岸8県市道間グリッド構築



An aerial night view of a city, likely Yokohama, Japan, featuring a large suspension bridge (Yokohama Bay Bridge) and a complex highway interchange. The city lights are visible, and the water reflects the lights. The image is framed by a blue and white curved border at the top.

自由テーマ

2017 ITU テレコムワールド釜山開催

- 期間・場所：2017. 9.25(月)～9.28(木), 釜山ベクスコ
- 内容：展示会, フォーラム, 参加者間ネットワーキング等
- 規模：193カ国250社/ 80,000人(政府関係者, 業者等)





ありがとう
ございました。